

JICA 教師海外研修 学習指導案・授業実践報告書

【実践者】

氏名	後藤 亮	学校名	東京 私立 中高一貫 校 明治大学付属明治中学校
担当教科等	英語	対象学年 (人数)	中学 2 年 E 組 (34 名)
実践年月日もしくは期間 (時数)	2020 年 10 月 ~ 11 月 (7 時間)		

【実践概要】

1. 実践する教科・領域： 特別の教科 道徳、HR、特別活動		
2. 単元(活動)名：SDGsのレンズを通して社会に目を向けよう		
3. 授業テーマ (タイトル) と単元目標 授業テーマ：「ゼロハンガーチャレンジ・エキスパートへのインタビューで社会問題をジブンゴトに」 単元目標：身近な問題「食糧問題」を多面的・多角的な視野で捉え、自分たちに出来ることを考える。 関連する学習指導要領上の目標：身近な社会的課題を自分との関係において考え、その解決に向けて取り組もうとする意欲や態度を育てよう努める。		
4. 単元の評価 規準	①知識及び技能	写真や資料を見て、SDGs との関連性を持ちながら食糧問題の現状を理解する。
	②思考力、判断力、表現力等	収集した情報や身に付けた知識をもとに、自分の考えたことをまとめたり、それを話し合うことが出来る。
	③学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・協同学習を通して、他者の意見や考えに耳を傾け、自分にはなかった視点に気付くことが出来る。 ・学びを深めていくにつれ、自分なりに疑問を持ったり、批判的な視点で課題を見ることが出来る。
5. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	<p>【単元設定の理由】 世界、そして日本にある社会課題に目を向けていく中で、まずは身近な「食」に関する問題を切り口に生徒の興味を喚起したり、SNSによる表現活動やエキスパートへのインタビューといった体験を通して、社会問題をより自身にも関係のあることであると認識を持ってもらいたく設定した。</p> <p>【単元の意義】 「東京・私学」という恵まれた環境に身を置く本校生徒にも社会課題は身近に存在することを気付かせることで、「自分たちにも出来ることがあるのではないか」という考えを持ち、行動へと繋がせる。</p> <p>【生徒観】 本校は100年以上の歴史のある私立大学直系付属の中高一貫校であり、「質実剛健・独立自治」の校訓の下に指導が行われている。自主的に校外での活動や学習を行う生徒もいる一方で、広い視野を持つことに前向きでなかったり、自分自身の興味を広げることに関心の薄い生徒も見られる。裕福な家庭出身の生徒も多いせいか、日本にある課題についての関心も比較的低いと言える。世界の諸問題や日本に存在する問題に関連付け、生徒自身にも関わる社会問題であることを意識し、理解させることでより外に対する意識を持たせるように留意したい。</p>	

	<p>【指導観】</p> <p>本校には独自のカリキュラムによりいわゆる「総合的な学習の時間」が時間割として組み込まれていない。その代わりに特別活動の一環で、中学1年次に「本の紹介文コンクール」、中学2年次に「作文コンクール」、中学3年次と高校1年次に「英語スピーチコンテスト」、そして高校2・3年次に「イングリッシュ・プレゼンテーションコンテスト」がある。それら学校企画や普段の各教科との連携を図ることで、今回行っているような学びが今年度のみ単発的なものではなく、より総合的・統合的な指導により生徒たちの学びを有機的なものへとさせていきたい。</p> <p>また本校では「独立自治」という校訓の下、宿泊行事やその他行事はもちろんのこと、日常の学校生活においても生徒たちの独自性・主体性が尊重されている。SDGsを通じた学びによって、より生徒たちの主体性・協同性を育むきっかけとしたい。</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 単元計画 (全 7 時間)

時	小単元名	学習のねらい	学習活動	資料など
1	“SDGs Day” に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・食糧問題について知る ・日本の輸出入事情について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「モノはどこから来る？」カードゲームを通して日本にあるモノが他国から予想よりも多いことに気付く。 ・WFP のウェブページより「ゼロハンガーチャレンジ」について触れ、自分たちが出来ることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「モノはどこからくる？」カードゲーム
2	食材から他国と日本を知ろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の食料自給率について考える。 ・写真を通して食の在り方について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本、そして東京の食料自給率を知り、他国や他の地域に頼っていること、見えないように繋がっていることを理解する。 ・フォトランゲージ 多くの国や地域の家庭の食に関する写真を比較検討し、話し合いを通じながらその類似点や相違点について考える。 	「写真で学ぼう！地球の食卓」開発教育協会(DEAR)
3	・食糧問題と難民問題	<ul style="list-style-type: none"> ・難民の生活を知る。 ・日本の難民受け入れ現状について考える。 ・WFP について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を比較しながら難民の生活について理解をする。 ・日本の現状や支援について知識を得たり、話し合いを通じて考える。 	「写真で学ぼう！地球の食卓」開発教育協会(DEAR)
4	・難民問題と国際貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・難民問題について考える。 ・日本の現状と国際貢献の必要性について触れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に引き続いて、食糧を通して難民問題を知り、その上で世界で起きていることや日本の現状について考える。 ・日本の現状について触れた上で、国際貢献の必要性について話し合う。 	「写真で学ぼう！地球の食卓」開発教育協会(DEAR)
5 本時	・SDGs Day のインタビューに向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・三団体（こども食堂・WFP・サラダコスモ）について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジグソー法による記事の読解 それぞれの団体に関する記事を読み、グループでシェアを行う。 ・グループごとに質問の作成 ・インタビューの練習を行う。 	新聞記事
6	・SDGs Day に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の続き グループで出てきた質問をクラスでシェア ・ゼロハンガーチャレンジ グループ発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・三団体バランスよく、また様々な視点の質問を生徒たちと共に選ぶ。 ・グループによる発表。 なぜその写真にしたかななどの背景を語る。 	

7 (11/10)	SDGs Day	・三団体の発表	・インタビュー形式で行う。事前準備したものに加えて、先方が話した内容についても質問を行う。 ・前時でクラス内シェアをしたそれぞれのゼロハンガーチャレンジについていくつか講評をいただく。
8	SDGs Dayの振り返り	・三団体それぞれの振り返り	・ペア/グループ/クラスで話し合いを行って、どんなことを学んだかを振り返る。 ・振り返り用紙を書くことによって最後は個人に落とし込むようにする。

7. 本時の展開 (5 時間目)			
本時のねらい: 「エキスパート」の取り組みを知って、自分たちに出来ることを考えよう。			
過程・時間	教員の働きかけ・発問および学習活動 ・指導形態	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (5分)	○ 「ゼロハンガーチャレンジ」について発表 ・ 4～5人組で写真を見せ合い、簡単に発表を行う。 ○ SDGs Day について ・ 三団体にインタビューを行う。	・グループの進捗状況を確認する。 ・グループ毎に回収をし、HR委員に渡す。 ・来週数枚絞って発表を行う。 ・ただ「聞く」のではなく「インタビューを行う」という意識付けを行う。	
展開 (30分)	○ ジグソー法を用いて資料を読み解く ・ 3人グループを作る。 ・ SDGs Day で話を聞く三団体について知る。 発問: どの団体もどういった意識で社会貢献をしているんだろう? その人たちの生きがいは? エキスパート それぞれ一つのグループを A: こども食堂、B: WFP, C: ギアリンクスの3つのグループに分かれて、ABCそれぞれの活動内容をエキスパートのグループの中で読み解く。	・事前にグループを決めておく。 ・座席移動をスムーズに行うよう促す。	・三団体に関する新聞記事

<p>まとめ (5分)</p>	<p>ジグソー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み解いた3種類の記事を元のグループに戻ってシェアを行う。 ・話し合った中で特に感銘を受けたところ、自分でも出来ると思ったところ、そしてインタビューで聞いてみたいと思ったところを話し合う。 <p>クロストーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近くのグループと意見を交換する。 ・グループで話し合ったことをクラスで発表。 <p>インタビュー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究授業に来校された方々にグループ単位でインタビューをする。 ・SDGs Day 本番に聞きたいこと、今後調べてみたいことをワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・司会役／書記役といった役割を決めて行う。 ・話し合った内容に加えて、疑問点についても案が出るように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューシート
----------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------

8. 評価規準に基づく本時の評価方法

- ・既有知識や経験をもとに、読み解いた情報を組み合わせて疑問点（質問したい点）について話し合っている。【観察・ワークシート】
- ・他者との協働学習を通してインタビューを行う団体の背景について理解することが出来る【観察】
- ・グループによる読解や話し合いに主体的に取り組んでいる。【観察・ワークシート】

9. 学習方法及び外部との連携

(1) SDGs Day

11月10日(火)にゲストティーチャーを招いて講演・生徒のインタビューに答えていただくという形式で学年生徒全員に対する意識の高揚を図った。

A. こども食堂かくしょう寺 代表細川さん

本校より徒歩10分にあるお寺覚證寺の住職でもあり、そこで開催されるこども食堂の代表も務める細川さんに来ていただく。本校にすぐ近くにこども食堂がある事実、そういった取り組みがあるといったことを知ってもらいたい、そして住職がこども食堂を始めた思いなどを知ってもらいたく参加をお願いした。

B. WFP (国際連合食糧企画) 由佐さん

学年教員の知り合いであり、今回2学期に取り組む企画「ゼロハンガーチャレンジ」をキャンペーンするWFPに勤務しており、WFPという組織やその活動内容、そして必要とされる社会情勢や背景を生徒達に知ってもらいたく参加をお願いした。

C. サラダコスモ／ギアリンクス社長 中田さん

2020年度教師海外研修代替の国内研修でお話を聞かせていただいた経緯よりぜひ生徒達にも中田さんがギアリンクス社

を通してパラグアイとの架け橋となったこと、大震災という有事において行動に移せたことの背景やその情熱を伝えていただきたく参加をお願いした。

SDGs Day に関しては本校にあるホールに学年一同を集めて学年集会として行う。ただ一方的に話を聞くというのではなく、事前指導において三団体について学び、当日においても聞いた話をインタビュー形式にして質問をすることで出来るだけ生徒たちが前のめりになって聞けるようにする。

(2) 学年活動

3学期は「気候変動」を切り口に社会問題について議論をする展開を進めている。2月16日にはOBである鈴木秀彦 明治大学准教授より南極観測隊に参加した経緯に加え、ご自身の研究と気候変動に関するお話を聞く機会を設けている。11月同様一方的な講義形式ではなく、事前学習をした上で生徒から質問をするような構成で行う。

10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組

(1) 校内掲示物・学年文庫の設置

校内廊下にSDGsに関すること、今回取り組んだ「ゼロハンガーチャレンジ」に関する情報を掲示した。また学びを深める一環として中学2年廊下にSDGs関連本やその他社会問題に触れた書籍や絵本等を並べた。



(2) 文化祭学年展示

道徳の授業の中でまず1学期はSDGs そのものについて学んだ。それら学んだものを「見える化」するために模造紙にそれぞれのグループが選んだSDGsのゴールをまとめたものをイラスト等を交えて書いたものを文化祭の展示物の一つとして掲示した。



(3) 学年教員との連携

今年度の道徳の授業は学年統一事項のものを行うこととなり、年間を通してSDGsについて、そして「SDGsのレンズを通して社会に目を向けよう」という共通目標を持って指導をしている。

【自己評価】

<p>11. 苦勞した点</p>	<p>指導観でも書いたが、「総合的な学習の時間」がないため、各クラスで共通事項として指導が出来るのは唯一道徳の授業であったため、その時間を使い指導をしていたが行事等が入るたびにそれに関する決め事をしなくてはいけなり、指導の時間が少ないクラスも見られた。また教科指導等においてもペア・グループワークを用いる教科は少なくまず慣れてもらうことに時間が掛かってしまった。</p> <p>新聞の資料を集める際、どれがその団体を表すものかと生徒の興味関心に合わせた記事選びの両立が難しく、普段より新聞をスクラップをしたり、SDGs Day に向けた委員を立ち上げたのであるが、彼らに頼むなどしていれば、より早く事前準備が出来たように思う。</p>
<p>12. 改善点</p>	<p>ジグソーリーディングの際、手順の流れに重きを置いてしまったため、生徒の読みが浅くなってしまったように感じた。クロストークによるシェアまでたどり着くことは出来たが記事の表面部分に触っただけの理解および意見も見られた。発問をするタイミングや内容をより精査し、生徒の読みが深まった上での議論とクラス内シェアで出来るように工夫が必要である。</p> <p>また生徒の中にも学期を SDGs や外の世界に関心を大いに抱くのもいれば、まだヒトゴトと感じてしまう生徒もいた状態であったので、そのギャップを埋める段階が必要であったと感じている。</p> <p>SDGs Day に向かっては主にHR委員やボランティアを中心に組織を作っていたがもう少し学年全体を巻き込めるシステムを構築しておくべきであった。</p>
<p>13. 成果が出た点</p>	<p>①生徒の変容：教科だけでなく、ネットやテレビの情報を得て、「これって SDGs に関連するんでは？」と考えることが出来るようになった。中学生徒会長選挙の際、「SDGs を通して学校をより良くする。」という公約・目標が生まれるなど自分たちの手で周りの環境を良くするという意識が芽生えたように思われる。</p> <p>SDGs Day に来てくださった子ども食堂に新型コロナが収まればぜひ貢献したい、他にも学校の地域や自分の住んでいる地域で同じように活動している団体がないか調べてみたり、参加を考えている生徒も見られた。</p> <p>また zoom や電話などで保護者と会話をする際も SDGs の話しが出るようになり、家庭内でも SDGs について話す機会があったと報告を受けた。</p> <p>②教員の変容：各教科の各単元を指導する際に SDGs を絡めて指導をしたなどの声が聞こえるようになった。他学年の教員より「SDGs って何?」、「SDGs と自分の教科を関連して教えてみたいのだけどどうすれば良い?」などの相談も増えた。</p>

14. 学びの軌跡
(児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)

・SDGs Day 当日のメモ・ふりかえりシートより

1.

インタビューシート①

～この人に学ぶ！～

11月10日(火)		場所 ホール	天気 ☁
① ゲスト名 中田 智洋 社長		② 職種 サラダコモノ 社長	
③ メモ ・民間企業から緊急事態に備える。 ・南米←日本 30万人移住 (大さく5箇所) → 応募 ・「10777アイコ」日本 に行くと日本人は 悪いと言われない。 ・「10777アイコ」は日本の事を「母国」という。→ 寄付金(10万円) 住む方を5 ・「10777アイコ」の豆腐を届けられて、とても嬉しい。3000万円 (30万丁)の豆腐を届けると 出た。 ・総理大臣の感謝状			
Q1 なぜその仕事を始めた?	Q2 中学時代の志向を教えてください。		
A. 民間人でも食料確保などの問題を解決したいと考えたから。	A. 社会が好きで、世界地図をよく見ていた。		
Q3 将来どのような企業を目指していますか?	Q4 金銭面はどのように乗り越えました?		
A. 野菜の種までオーガニックでつくっている社会に胸を張って生きたい。	A. お金は人のために使うと、皆が喜んでくれる。心が豊かになると嬉しい。		
Q5 東日本大震災の連絡を受けた時、どう思った?	Q6 食料危機になった時、なぜ行動しようと思った?		
A. 涙が止まらなかった。次どうしようかを第一に考えた。	A. 若い時から、困っている人を助けることが自分の幸せ。素晴らしい人生を歩みたい。		

2.

ふりかえりシート (お話をきいて/後日記入・提出)

★この仕事のイメージは? お話の前と後では? 自分のお金や生活をきせいにして正直生きていくのかと思っ、こはあったが、お話を聞いて、本当に人のために働いていることがすぐ伝わった。	★私が驚いたことは? スゴイと思ったことは? 民間人でも、人の役に立つことができるような仕事をしたいということが理由で今の仕事をしているということに驚いた。
★私がうれしかったことは? 食料自給率について詳しく発言してくれたことがうれしかった。 企業の将来的な設計図を聞いた。	★とても印象に残っている言葉や考えは? 自分が困っている人達を支援することがかが幸せ。
★私が考えたこと、自分も見習いたいことは? 人の役に立つということも第一に考えたい。 人が喜ぶことが自分にとって幸福として、生きたい。	★さらに聞いてみたいことは? 疑問は? 結婚しているのかを聞いてみたい。 移住した人達の暮らしについてもっと聞きたい。

3.

心りかえりシート (お話をきいて/後日記入・提出)

<p>★この仕事のイメージは？ お話の前と後では？</p> <p>前、お金が^たた^たた^たの^た経営が^た厳しい 少し大変な子どもたち^たが^た行く 場所の子どもが^たたくさんある</p> <p>後、地域^たの人の支援により^た成り立つ 「^た誰^たでも^た行ける。ボランティア^たできる。 大人^たでも^た行ける、遊べる。</p>	<p>★私が驚いたことは？ スゴイと思ったことは？</p> <p>おえらい^たんだからと^たいって^たお話を 板えす！ フラットな^た立場が 良いという^たこと</p> <p>需要と供給を^た考えて^た活動を 計画^たすること</p>
<p>★私がうれしかったことは？</p> <p>私たちの^た近くに^た子ども^た食堂^たがあり、 少しずつ^た大変な^た子ども^たたちが 救われて^たいる^たこと</p> <p>子ども^たたちが^たおいしい^た飯^たを お腹^たいっぱい^た食^たべられる^たこと</p>	<p>★とても印象に残っている言葉や考えは？</p> <p>信念^たは^たなし！ その^た場の^た状況^たで^たエネルギー^たを使う。 子ども^たの^た貧困^たについて 身近な^た子ども^たの^た貧困^たについて 考える。 ^た上の^た人^たに^たな^たり^た考^たえ^たる 上下^たの^た立場^たの^た考^たえ^たは^た嫌^たい。 ^た言^たわ^たば^たの^たた^た</p>
<p>★私が考えたこと、自分も見習いたいことは？</p> <p>子ども^た食堂^たに来^たる^た子ども^たたちの 面目^たを^た気^たに^たして、^た誰^たでも^た 来^たられる^た雰囲気^たづ^たくり^たして いる^たという^たこと</p> <p>⇒ 他^たの^た人^たの^た立場^たに^た立^たつ^たこと</p>	<p>★さらに聞いてみたいことは？ 疑問は？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印象^た的^たな^たエピソード^た。(子ども^たの) ・T^たン^たカ^たの^たと^ため^た方^た。 ・X^たニ^たユ^たー^たで^た和^た田^た川^たの^たお^た好^たま^たな (みんな^たに^た人^た気^たの^たもの^たは^た?) ・ボ^たラ^たン^たチ^たア^たの^たお^た々^たの^たエピソード^た。

4.

心りかえりシート (お話をきいて/後日記入・提出)

<p>★この仕事のイメージは？ お話の前と後では？</p> <p>国^た連^たって^たお^たい^た大^た変^たで^たか^たに^たく^た子 もの^ただ^たと思^たっていた^た</p> <p>で^たか、^たAA^たの^たつ^たう^たい^たた^たと^た関^たわ^たつ 自^た分の^たし^たあ^たれ^たを^た卑^た感^たで^たま^たす^た でき^たる^たのか^たは、^た思^たった^た</p>	<p>★私が驚いたことは？ スゴイと思ったことは？</p> <p>か^たか^たお^たを^たし^たさい^た子^たども^たを^たち^たか^たい^たと^たつ^たて^たいる という^たこと^たは^た知^たら^たな^たい^たけ^たど、^た実^た際^たに^た 見^たて^たると^た本^た当^たに^たな^たら^たい^たと思^たった^た</p> <p>こ^たんな^たは^た扶^た養^たの^たお^たん^ただ^たと思^たった^た</p>
<p>★私がうれしかったことは？</p> <p>か^たか^たお^たを^たと^たつ^たて^たいる^た子^た供^たた^たち^たは 私^た達^たより^たお^たず^たと^た苦^たしい^た生^た活^たを 送^たっている^たは^た私^ただ^たけ^たど、^たそ^たの^た中^たで^たも そ^たれ^たそ^たれ^たに^た大^た切^たな^た時^た間^た、^た楽^たし^たに^た し^たている^た時^た間^たが^たあ^たって^た良^たか^たった^た</p>	<p>★とても印象に残っている言葉や考えは？</p> <p>か^たか^たは^た目^たの^た前^たで^た粉^た々^たと^たか^たた 子ども^たを^たつ^たて^たて^たか^たた^た という^た難^た民^たの^た言^た葉^た</p> <p>こ^たれ^たが^た普^た通^たに^たま^たま^たで^たは^た世^たの中^たは 良^たく^た付^たか^たい^たと思^たった^た</p>
<p>★私が考えたこと、自分も見習いたいことは？</p> <p>か^たか^たお^たを^たと^たつ^たて^たいる^た子^た供^たた^たち^たも 保^た護^た施^た設^たに^た入^たれた^たの^たほ^たら、 チ^たョ^たコ^たレ^たト^たは^たこ^たれ^たら^たい^た高^た価^たな^た もの^たに^たは^たる^たのか^たも^たチ^たョ^たコ^たレ^たト^たが^た ば^たか^たら^たる、^たという^たこと^たも^たあ^たまる^たのか^たは 思^たった^たし、^た考^たえ^たた^た</p>	<p>★さらに聞いてみたいことは？ 疑問は？</p> <p>か^たか^たお^たを^たと^たつ^たて^たいる^た子^た供^たた^たち^たも ど^たう^たい^たう^た世^たの中^たに^たは^たか^たら^た学^た校^たに^た 行^たって、^た自^た由^たな^た時^た間^たを^た楽^たし^ためる^た のか^た</p> <p>そ^たの^たた^ため^たに^たは^た私^たた^たち^たに^たど^たう^たい^たつ^た 取^た組^たみ^たが^たでき^たる^たのか^た</p>

・SDGs Day に向けて「ゼロハンガーチャレンジ」に取り組んだが、実際に自分で SNS に投稿したり、自分たちで廊下にある掲示板を使用するようになった。



15. 授業者による自由記述

2020 年度の研修は新型コロナウイルスの世界的な流行により現地に行くことは残念ながら叶わなかったが、国内研修に参加し、研究授業を行うにあたって自分の教員としての視野や知見を広げることが出来た。SDGs というゴールを掲げ、その上そのゴールに向かって逆算をしてプロセスを踏むのは今回のような指導に限らず、教科・分掌など全ての学校の活動に繋がらうる。

今年度は道徳・HR の授業においてほぼ全て共通の内容を担当学年に指導するため、共通指導案を学年担当者と相談しながら作成していった。足りない知識を補ったり、クラスによって少し微調整をしたりと、会話をしていく中でお互いに「どういった生徒を育てていきたいか。」という教育の根幹とも言えるものについて実は今まで共有できていなかったことを話し合うことが

	<p>でき、今まで以上に生徒たちの様子の観察し、生徒たちのことを考える時間を持つことができた。 今回研修を通して教員として大いに考えさせられ、一人の人間として成長をするきっかけを与えていただいた。来年度以降も生徒と共に SDGs の視点から挑戦をしていきたい。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

参考資料：

- ・「モノはどこからくる？」カードゲーム JICA 東京
- ・「写真で学ぼう！ 地球の食卓」開発教育協会(DEAR)
- ・各社新聞記事（東京新聞／朝日新聞／岐阜新聞／日本経済新聞／朝日中高生新聞／読売中高生新聞）
- ・「世界から飢餓を終わらせるための30の方法」ハンガー・フリー・ワールド編（合同出版）
- ・冊子「私たちが目指す世界 子どものための持続可能な開発目標(SDGs)」セーブ・ザ・チルドレン
- ・株式会社ギアリンクス
<http://www.gialinks.jp/>
- ・こども食堂かくししょうじ
<https://syokudou.kakushoji.or.jp/>
- ・国連 WFP 世界食料デー キャンペーン 2020
<https://www.jawfp.org/worldfoodday2020/index.php#about>

SDGs Day ～エキスパートを知る～ ワークシート

自分の担当記事番号

担当記事の見出し

◎ どんな人？

◎ どんな団体？

◎ 記事を他の人にも分かるように要約しよう。

◎ SDGs Day 当日にどんなことを聞いてみたい？

グループ・クラスシェア

① 友だちの担当箇所  友だちの名前 ()

どんな内容？ メモをしよう！

◎ どんな人？

◎ どんな団体？

◎ 記事を他の人にも分かるように要約しよう。

◎ SDGs Day 当日にどんなことを聞いてみたい？

② 友だちの担当箇所  友だちの名前 ()

どんな内容? メモをしよう!

◎ どんな人?

◎ どんな団体?

◎ 記事を他の人にも分かるように要約しよう。

◎ SDGs Day 当日にどんなことを聞いてみたい?

☆3つの要点をまとめてどんなことが言える？ 意見・感想・疑問点などを書き出そう！
最後にクラスで発表しよう！

○ クラス発表用メモ欄（自分用）

● クラスの子たちの発表のメモ欄

_____ 組 _____ 番 氏名 _____

ゼロハンガーチャレンジ 発表①

- ・グループ発表

① 撮影場所

② 何の写真なのか説明

③ どう「チャレンジ」につながるのか

④ この写真にした理由・伝えたい思い

SDGs Day 11/10 登壇3団体

- ・ サラダコスモ (ギアリンクス)
代表取締役 中田さん
- ・ 子ども食堂 かくしょう寺
住職 細川さん
- ・ WFP (世界食糧計画)
由佐さん



3団体を知ろう！



3人グループを作る

- ・ A / B / C に役割分担

A: サラダコスモ / ギアリンクス

B: 子ども食堂

C: WFP

- ・ Aは窓際 / Bは真ん中 / Cは廊下側に移動

Big Question

- どの人・団体もどのような意識で社会に貢献しているんだろう？
- その人たちの生きがい、働きがいって？

エキスパート

- ・ まずは個人での齋藤孝読み
「三色ボールペン」
- ・ 近所の人とワークシートに書き出そう。
→ 話しながら書く！

グループシェア

- 元のグループに戻ってどんな内容だったのかをシェアする。
- 聞いた内容をメモする。
- 司会／書記を決めて、協力をしながらワークシートを埋めよう！

クロストーク

・近くのグループとまずシェア
☆内容 & その人たちの思い

→感想、本番に聞いてみたいこと

Big Question

- どの人・団体もどのような意識で社会に貢献しているんだろう？
- その人たちの生きがい、働きがいって？

クロストーク

- ・クラス全体でシェア
- 練習／1人に任せない
- 補足を入れる

SDGs Day インタビューシート

あなたが質問したい人・団体は・・・ _____

● 質問（具体的に）

● 気付いたこと・感想

_____ 組 _____ 番 氏名 _____

SDGs Day



～SDGs のレンズを通して社会に目を向けよう～

日時：2020年11月10日1～4限

場所：鶴澤総明ホール

___ 組 ___ 番 名前 _____

目次

1. はじめに
2. 持ち物(p.3)
3. 座席表(p.3)
4. タイムスケジュール(p.4)
5. 登壇者紹介(p.4)
6. 登壇メモ／インタビューシート(p.4～9)
7. メモ欄(p.10)

● はじめに

「^{ヒトゴト}他人事」を「^{ジブンゴト}自分事」にしよう！

「SDGs ってなに？」

その問いから今年度の道徳の授業は始まりました。SDGs（持続可能な開発目標）を学ぶ意義とはなんでしょうか？ 学んでいく中で強く興味を抱いて自分からたくさん調べる人もいれば、「今の自分には関係ない。遠い世界の話でしょ。」とか、「ただのキレイゴトじゃないの？」といった感想を持つ人もいるかもしれません。どちらの反応も真っ当な反応で、SDGs に興味を持つ・持たないは自由です。

ただ、君たちが生きる現代社会は変化が早く大きく、不確定で、そして何が正解で不正解か分からない世界です。その中で「疑問を持ち続けること・考え行動に移すこと」が大事ということを忘れないようにしましょう。君たちが大人になった時どんな社会が待ちうけているのでしょうか？ その時君たちはどんな生活を送っているのでしょうか？ その時にはどんな力が必要とされているのでしょうか？ そして何より君たちが将来どのような社会になっていたら良いと思うのか？ 本当に君たちがしたいことは何でしょうか？ 自分に問いかけましょう。SDGs はそれらの問いに答える一助となります。

例えば、君たちが山に登ろうと考えるとき、まず考えることは何でしょうか？ 「山頂がどこにあるか分からないけど、とりあえず登ってみよう。」と地図や準備もなしに登り始めるのでしょうか？ 突拍子もない例え話に聞こえるかもしれませんが、目標設定のない生活や人生はこれに似ています。目標を設定し、今の自分に何が必要かを考えて行動する時に人は物事を「自分のモノ」として捉えます。SDGs はこの不確定な時代の羅針盤（コンパス）の役割を果たす手段／ツールです。SDGs を通して学んだ学びのプロセスをぜひ君たちのこれからに生かしてください。

本日お話をされる3名の方々も色々な体験や葛藤を経て今に至ります。エキスパートと呼べる人たちの生き方や考え方を知り、ぜひ自分たちのこれからの参考にしてほしいです。今まで自分には関係のない世界の話と思っていたことも、実は自分にとっても大きく関係する話なのだ実感を持つことと思います。

今日の SDGs Day 、そして今までとこれからの SDGs に関する授業を通して、「生きるって何？」「幸せって何？」「本当の意味で豊かであるってどういうこと？」を考えていきましょう。

☆持ち物

1. しおり
2. 筆記用具
3. SDGs 冊子 (Save the Children 作成のもの)
- (4) メモを取る用のノートやメモ帳
- (5) 下敷き←ホールで記入することになるため。

※2限前にある小さな紙が渡されます。他の人に見せない+落とさないように！

● ホール座席表

HR委員は率先して座らせる&点呼。

その他の人も自ら座ったり声を掛け合ったりして、時間を守る。 周りを見て、行動をする。



● タイムスケジュール

8:35 SHR 朝点呼・出席確認

8:45 生徒着席

8:50 諸注意

9:00～9:40 サラダコスモ／ギアリンクス代表取締役 中田智洋さん ご講演&インタビュー

9:45 着席完了

9:50～10:35 1限目振り返り&SDGs ワークショップ 「世界がもし100人の村だったら」

10:45 着席完了

10:50～11:40 こども食堂かくしろうじ事務局／住職 細川真彦さん ご講演&インタビュー

11:50 着席完了

12:00～12:40 WFP（国連世界食糧計画）由佐泰子さん ご講演&インタビュー

12:50 各HR教室に移動 ふりかえりの後、解散

13:10～ 中2学年専用スクールバス

※スクールバスダイヤ

調布経由矢野口行き	13:10	13:20	13:30
三鷹行き	13:10		13:30

● ご登壇者ご紹介

1. サラダコスモ（ギアリンクス）代表取締役 中田智洋（なかだ ともひろ）さん
サラダコスモ社は岐阜県中津川市にある。2000年に「ギアリンクス」設立。
2011年 農林水産省「FOOD ACTION NIPPON アワード」2010入賞
2014年にはテレビ東京「カンブリア宮殿」に出演
2. こども食堂かくしろうじ 事務局／住職 細川真彦（ほそかわ まさひこ）さん
東京都調布市にある浄土真宗本願寺派の仏教寺院 覚證寺（かくしろうじ）の第15世住職。
2016年4月に同お寺内に地域の方々とこども食堂を始めた。
3. WFP（国連世界食糧計画） 由佐泰子（ゆさ たいこ）さん
宮城県で教員を経て、青年海外協力隊（ベネズエラ派遣）に参加。
WFPで緊急援助防災担当官（ペルー）、学校給食担当官（マラウイ、カイロ地域事務所）、
レジリエンス・生計支援担当官（ウガンダ・スーダン）、UNICEF スーダン事務児童保護担当
官を務める。

～この人に学ぶ！～

月 日 ()	場所	天気
① ゲスト名		② 職種
③ メモ		
Q1	Q2	
Q3	Q4	
Q5	Q6	

ふりかえりシート（お話をきいて／後日記入・提出）

★この仕事のイメージは？ お話の前と後では？	★私が驚いたことは？スゴイと思ったことは？
★私がうれしかったことは？	★とても印象に残っている言葉や考えは？
★私が考えたこと、自分も見習いたいことは？	★さらに聞いてみたいことは？ 疑問は？

今日の活動を振り返って 自己評価				
	いいえ			はい
1 おしゃべりをしないで静かに話を聞くことができた。	1	2	3	4
2 メモを取りながら集中して聞くことができた。	1	2	3	4
3 ゲストの呼びかけにきちんと反応した。	1	2	3	4
4 ふりかえりシートに自分の考えを書くことができた。	1	2	3	4
5 この人から学ぶことができた。（きちんと書けた）	1	2	3	4

～この人に学ぶ！～

月 日 ()	場所	天気
① ゲスト名		② 職種
③ メモ		
Q1	Q2	
Q3	Q4	
Q5	Q6	

ふりかえりシート（お話をきいて／後日記入・提出）

★この仕事のイメージは？ お話の前と後では？	★私が驚いたことは？スゴイと思ったことは？
★私がうれしかったことは？	★とても印象に残っている言葉や考えは？
★私が考えたこと、自分も見習いたいことは？	★さらに聞いてみたいことは？ 疑問は？

今日の活動を振り返って 自己評価				
	いいえ			はい
1 おしゃべりをしないで静かに話を聞くことができた。	1	2	3	4
2 メモを取りながら集中して聞くことができた。	1	2	3	4
3 ゲストの呼びかけにきちんと反応した。	1	2	3	4
4 ふりかえりシートに自分の考えを書くことができた。	1	2	3	4
5 この人から学ぶことができた。（きちんと書けた）	1	2	3	4

～この人に学ぶ！～

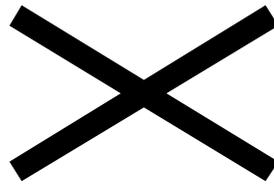
月 日 ()	場所	天気
① ゲスト名		② 職種
③ メモ		
Q1		Q2
Q3		Q4
Q5		Q6

ふりかえりシート（お話をきいて／後日記入・提出）

★この仕事のイメージは？ お話の前と後では？	★私が驚いたことは？スゴイと思ったことは？
★私がうれしかったことは？	★とても印象に残っている言葉や考えは？
★私が考えたこと、自分も見習いたいことは？	★さらに聞いてみたいことは？ 疑問は？

今日の活動を振り返って 自己評価				
	いいえ			はい
1 おしゃべりをしないで静かに話を聞くことができた。	1	2	3	4
2 メモを取りながら集中して聞くことができた。	1	2	3	4
3 ゲストの呼びかけにきちんと反応した。	1	2	3	4
4 ふりかえりシートに自分の考えを書くことができた。	1	2	3	4
5 この人から学ぶことができた。（きちんと書けた）	1	2	3	4

【メモ欄】





#食品ロス
ゼロアクション

残さず
食べきる



EAT

お店では
食べられる分だけ
注文する

お得だからと
大量に買わず
使う分だけ買う

オンラインや
アプリで
廃棄されそうな
食料を買う

#国連WFP



BUY

食べきれないものは
フードバンク
などへ送る

賞味期限が
近いものや
見切り品を買う

世界食料デーキャンペーン2020
みんなの投稿で食品ロスゼロにチャレンジして子どもたちに給食を届け、飢餓ゼロにつなげよう！

ゼロハンガーチャレンジ 食品ロス × 飢餓ゼロ

9/1~
10/31

今日からできるわたしの#食品ロスゼロアクション

食品ロスに関する
イベント・講座に
参加する

余った食材は
乾物にして
保存する



COOK

使いきれるように
工夫して
収納・保存する

余った料理を
アレンジする

わたしたちも
アクション・応援
します！

皮などを
過剰に捨てない

#ゼロハンガー
2020



©YOSHIMOTO KOGYO CO., LTD.

3時のヒロイン

食べ物を捨てる私たちと、食べられない世界の人たち

本来、地球上には世界の人口77億人を、十分賄うだけの食料があります。
しかし世界では6億9,000万人が、飢えに苦しんでいます。
一方、世界では生産された食べ物の3分の1が廃棄されています。
日本も「食品ロス」大国の一つです。

あなたの食品ロス削減の取り組みを 途上国の食料支援につなげます

参加方法

食品ロスゼロにつながる
アクションをしてSNSに投稿！



1投稿につき120円(約4人分)が
学校給食支援に寄付されます
(寄付協力企業より)



©WFP/Ratanak Leng



©WFP/Ricardo Franco

投稿期間：2020年9月1日～10月31日

対象SNS：Instagram, Twitter, Facebook, YouTube

投稿方法：3つのハッシュタグをつけて投稿 **#食品ロスゼロアクション** **#ゼロハンガー2020** **#国連WFP**

※公開アカウントで投稿ください。お一人様何回でもご投稿いただけます

ユニークな「食品ロスゼロアクション」を SNS に投稿した人の中から審査の上、賞を贈呈！



キャンペーンサイト

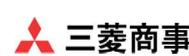
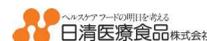


0120-496-819
受付時間9:00~18:00(年始を除く年中無休)

国連WFPは飢餓をなくすことを使命に活動する国連唯一の食料支援機関です。2019年は、世界88カ国で約9,710万人に対して食料支援を実施しました。また、1,730万人の子どもに給食を届けました。国連WFP協会は日本におけるWFPの公式民間支援窓口として、募金活動や企業・団体との連携、広報活動を行っています。



特別協賛



協賛

社食自慢

伊賀の里モクモク手づくりファーム
(三重県伊賀市)

オススメメニュー

【酵素玄米とから揚げのセット】 350円

玄米、小豆、塩、鶏肉、レタス、ウインナー、みそ汁
=750k cal



ナゴヤドーム4個分の広大な敷地に10の工房が点在する。訪れた親子らが、hamやウインナー、豆腐などの手作り体験をする。米や野菜を育て、牛やヤギを飼育。宿泊するところまで、視察もある。年間約50万人の観光客や視察団が訪れる。1987年、地元の養豚農家が

いち押しもちもち酵素玄米

農事組合法人を結成。ham工房として創業した。「ロマンと夢のある21世紀型農業」の理念に共鳴した若者ら、約400人が働いている。自慢の健康的な食事は、従業員用の食堂も同じ。いち押しのご飯は「酵素玄米」だ。農園や地元で採れた玄米に小豆や塩を入れて炊き、発酵させる。もちもちとした食感や味は、赤飯のよう。酵素の力で消化吸収がよくなるそうだ。

はやりもの バスターープ

着られるバスターール「バスターープ」が売れている。タオルに開いた三つの穴に腕を通せば、バスターープのように羽織れて風呂上がりの部屋着になる。大判のタオルの右の穴に右手、真ん中の穴に左手を入れ、余ったタオルを体に巻き、残った穴に右手を通すだけ。吸水力の高い極細繊維を使った無地と、タオル地を使った柄つきがあり、価格はいずれも税込込み3990円。東急ハンズ名古屋店(名古屋市中区)では、40~50代の女性を中心に7月に約190枚が売れた。「ギフトとしても人気です」とバス用品担当の戸田好美さん。(木村裕明)

ご意見・疑問 募集します

このページへのご意見や、東海経済に関する疑問・質問を募集します。毎週1人の方にクオカード(2千円分)を差し上げ

◆「東海経済」面は来週休みます。

穀物輸入 南米にこだわり

深読み 先読み

「どんな穀物を輸入しているのですか。」

「ブラジルの日系移民でつくる農業協同組合から、主に大豆を輸入している。隣のアルゼンチンでは、1950年の農地を買った。日系移民が農場を管理し、生産した大豆やトウモロコシを輸入している。昨年の大豆の輸入実績は約1千ト。岐阜県内の豆腐用大豆の約15%をまかなうまでになった。今年は2300トに増える見通しだ。」

「12年前だが、当時の梶原拓・岐阜県知事がアルゼンチンから帰国後、私に電話をかけてきた。知事は以前、当社の野菜工場を視察されたことがあった。海がななく山が険しい岐阜県の食糧自給率は、25%程度と低い。南米に渡った岐阜県出身の移民農家と連携し、食糧を調達しよう」と提案された。日系移民の生活支援にもなること——実現しましたか。

サラダコスモ 中田 智洋社長



久保智撮影

なかだ・ともひろ 岐阜県中津川市出身。駒沢大経済学部卒。1973年、父が創業したラムネとモヤシ製造販売の中田商店に入り、78年から社長。80年ナカダ産業として株式会社化。90年、サラダコスモに社名変更。60歳。

食糧自給率

農林水産省によると、日本の食糧自給率(カロリーベース)は、公表を始めた1960年度の79%をピークに下落傾向で、08年度は先進国では最低水準の41%に。コム(95%)や野菜(82%)は高めだが、肉類56%、魚介類53%、果実41%と低く、豆類は9%にすぎない。都道府県別では、愛知が13%で全国42位、岐阜が26%で35位、三重が43%で26位。

記者の視点

「モヤシの売り上げ増を楽しんでいた私の人生が、こんな風に展開するとは思わなかった」。国際舞台でのスピーチまで経験した中田社長は、自分でも驚く。頼まれると、意気に感じる。そんな経営者だ。モヤシにはじまり、カイワレ大根、ブロッコリーの新芽、チコリなどに品目が拡大。2009年5月期の売上高は、約60億円にのぼる。工場で生産するため、天候にかかわらず、安定して大量供給できる。発芽野菜の生産技術では世界

食糧確保と移民支援

は、土にはオクラやミズがいて、夏の夜には無数のホテルが舞い上がる豊かな大地がある。民間だけでなく、政府も注目を集める。中田社長に聞いた。(聞き手・久保智)

「農業主体となる穀物商社だ。2000年に設立した。資本金は9990万円。株主は事業に賛同する478人だ。このうち7割は岐阜県民。女性も割いるのが特徴的だ。経営は厳しいが、社会的な貢献度は高い。多くの人に食糧問題を考え、どうせ買うならば、苦労してきた南米の日系移民から優先的に買うということだ。」

「政府や国連も注目している。『資金的には難しいというところだが、果は専門家を現地に派遣し、現在の古田幸知事が視察

に訪れるなど、技術的、精神的な面で助けてもらっている。」

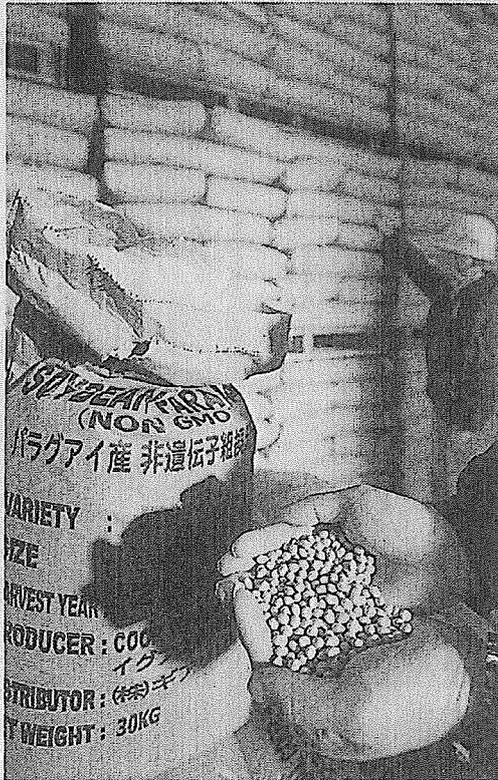
「輸入だと食糧自給率は向上しませんが、日本の食糧自給率は40%程度。これでは低すぎる。都市住民が郊外に1坪農園を持ち、野菜を作るように政策誘導する。国をあげて向上に取り組みないと難しい。それでも日本の農業は、世界からみれば趣味の園芸サイズ。やはり海外の農業国と仲良くし、買うしかない。どうせ買うならば、苦労してきた南米の日系移民から優先的に買うということだ。」

「政府や国連も注目している。『最初には難しいというところだが、果は専門家を現地に派遣し、現在の古田幸知事が視察

地球の裏側に社会的使命

トップの実力を自任するが、穀物輸入となると、ギアリングスは後発のベンチャー企業だ。大手の商社や食品メーカーは、もっと大規模に展開している。違いは、輸入の相手が日系移民で、その生活支援を目的としている点だ。こうした危機時の食糧確保は本来、政府が手がけるべき事業だろう。穀物メジャーならともかく、ベンチャーでは限界がある。それでも中田社長が地球の裏側との間を行き来するのは、事業の社会的意義を確信するからだ。

豆腐で被災地元気に



被災地に贈る豆腐づくりに使われるパラグアイ産の大豆＝5日午前、名古屋市港区の中央倉庫、福留庸友撮影

東日本大震災の被災者に100万丁の豆腐を贈る活動が、南米パラグアイの日系人と岐阜県の食糧輸入会社の連携が始まった。原料の大豆は、同国の主要輸出品。「心はひとつ」という母国への思いをパッケージに刷り、避難所などでみそ汁や湯豆腐にして食べてもらいたいという。

パラグアイ日系人と岐阜の会社タッグ

名古屋港区船見町の中ス(中田智洋社長)が、同国は南米中央部にあり、在パラグアイ日本大使館によると、約3800人の日本人移住者と約3200人の日系2世、3世がいる。大豆ができる。

寄贈の大豆100トで100万丁

心はひとつ
Corazones Hermanados

パラグアイ国民は日本を応援します。

被災地支援 長期間保存豆腐

南米パラグアイ国は東日本大震災に際し、同国日本人移住者が生産する大豆で作った豆腐を、同国友好支援活動として提供いたします。被災地の皆様の一歩も早い復興を念にパラグアイ国民の思いです。

11.04.20

TEL: 052-726-2255 (LINE: 052-726-2255)

〒466-0201 岐阜県岐阜市南大井1-1-1 中田智洋社長



ギアリンクスは2000年、将来の食糧不足に備えるために岐阜県が後押しして設立。8年前からパラグアイの大豆を輸入している。震災が起きた3月11日、中田社長は南米にいる。パラグアイの日系人もテレビで震災被害を見ており、「何ができる?」と申し出てくれたという。パラグアイの1人当たり国内総生産(GDP)は日本の約15分の1。それでも日系農家が大豆を100トン贈ることになった。さらに、100万丁の豆腐を製造するには4千万円かかる。1千万円分が日系の枠を超え同国民から寄せられた。残り3千万円分はギアリンクスが日本国内で募っている。

東京農大名誉教授で食文化研究者の小泉武夫さん(67)も「大豆食品はたんぱく質が豊富で、被災者が食べれば元気になれる」と賛同し、盛岡市の豆腐メーカーを紹介した。このほか岐パラグアイからの支援の豆腐のパッケージデザインにギアリンクス提供

4月13日から豆腐の製造を始め、100万丁に達するまで続ける。受取先の自治体も募る。

イグアス日本人会長で、大豆農家の福井一朗さん(46)は岩手県出身で、3歳の時に移住した。「暮らす場所は地球の反対側ですが、同じ日本人として、一粒一粒の大豆に復興の祈りを込めました」とメッセージを寄せた。

中田社長は「日系人の望郷と被災者支援の思いが、国全体に広がり、深く感動している。同国の大豆のおいしさもぜひ知ってほしい」と話す。問い合わせはギアリンクス(0573・66・5111、サラダコスモ内)へ。(山吉健太郎)

三色ボールペン読書術

赤：客観的に見て、最も重要な箇所

青：客観的に見て、まあ重要な箇所

緑：主観的に見て、自分がおもしろいと感じたり、興味を抱いたりした箇所

子ども食堂 広がる善意

貧困問題が背景

「十分な栄養を」県内62か所

地域の子どもに無料や低価格で食事を提供する「子ども食堂」が県内で急増し、阪神地域でも25か所が開かれている。子どもの6人に1人が貧困世帯で暮らすとされる中、栄養バランスのとれた食事を、みんなで楽しめる貴重な場所だ。特に尼崎市内は11か所と多く、市子ども政策課では「子どもの育ちに関わる市民が増えるのはありがたいと、情報提供などの側面支援をしていきたい」としている。(脇孝之)

県生活支援課によると、3か所)だったが、今年同じ期には62か所(同25か所)で、県内4か所(阪神地域)に急増。阪神地域の内訳は、

尼崎市11、宝塚市5、西宮市4、伊丹市3、川西市2となっている。

背景にあるのは、平均的な所得の半分以下で暮らす「貧困世帯」の存在。厚生労働省の2012年の調査で、18歳未満の16・3%がこうした世帯で暮らし、6人に1人が貧困に直面していると考えた。

と、市内で子ども食堂が初めて出来たのは2015年6月。小田地区の住民数人が「十分に食事が取れない子どもがいる」と同課に相談に訪れ、同市金楽寺町の特別養護老人ホーム「喜楽苑」で月1回開き始めた。その後、園田地区を中心に次々と誕生。阪神地区の約半数が同市に集中していることについて、同課では「尼崎は近所付き合いや自治会活動が活発で、地域で子どもの面倒をみる雰囲気が残っているからでは」と分析している。



手作りの料理を食べる子どもたちに話しかける吹野さん(左、尼崎市で)

地域協力も続く赤字 尼崎

毎週水、土曜日に開かれる尼崎市上坂部の子ども食堂には、いつも多くの子どもたちが集まる。

昨年2月、元市立保育園職員で一般社団法人「ポノプレイス」代表理事の吹野加代さん(59)が自費で開設。「子どもたちがコンビニでご飯を買い、自宅で一人で食べていると知り、放っておけなかった」という。

電器店だった木造2階建ての建物(延べ約90平方メートル)を改装し、1階に机や漫画などを置いた多目的室、2階に台所と14人が一度に食事できる食堂を設けた。

食事は子ども100円、大人300円で、有償ボランティアが作る。JA兵庫六甲から売れ残りの野菜をもらったり、近所の人から米を提供してくれたりするが、赤字が続く。

ある水曜日のメニューは▽カブの鶏そぼろあんかけ▽レタスのカツオたたきサラダ▽フルーツ——など5品。その日、やって来た子ども17人は午後6時頃に夕食が出来ると、順番に2階に上がって食べ始めた。

フルーツをお代わりする子どもや苦手のサラダを残す子ども……。みんな楽しそうに、食卓を囲む。市立園田南小の6年女児は「フルーツが楽しみ。今日もおいしかった」と笑顔を見せた。

貧困家庭支援 無料で夕飯

「近所を満腹に ごはんも食卓に」

日本では今、子どもの六人に一人が貧困状態にあるとされる。ひとり親家庭では、親が夜遅くまで働いても収入が少なく、満足な食事を与えられない子どもも多い。そんな子どもたちが一人でも来て、無料で夕飯が食べられる「せたがやごはん」も食卓・みっと」が、東京都世田谷区にオープンした。地元的女性グループが月二回運営し、子どもたちは大家族のような温かな雰囲気の中、食事を楽しんでいる。

「ごはんを待つまで待ってね。待つて食べるごはんはおいしいよ」「次のおでんの具はロールキャベツにしよ。」「十一月下旬、食卓を囲んでメンバーと子どもたちのお話が弾んだ。

この日のメニューはハンバーグ、サラダ、コーンスープ、漬物やパウンドケ



スタッフが見守る中、食事を子どもたち。東京都世田谷区で

世田谷のグループ 地域が差し入れ・寄付

原野近くで開く、運営メンバーは、料理サークルや屋上緑化など地域活動を通じて知り合った五十〜六十代の女性六人。「子どもの貧困を報道で知り、目の前の子どもたちを助けよう」と集

まった」と代表の村上由美さんは言う。食卓前には、区内の日大文理学部の学生が、子どもたちの遊び相手をし、勉強を教える。高校生までの子どもや保護者らの利用を想定しており、夕食は高校生まで無料、大人三百円、食費名の「みっと」は「みんな」で、一緒に、楽しく、食べよう」の頭文字「m-i-t」から名付けた。

開設に先立ち、近くの小学校二校、中学校一校、高校一校を通じチラシを配布して来場を呼び掛けたところ、十一月十二日の初回は子ども二十四人、大人十六人が訪れた。親子連れ、中学生の友達同士、保育園児の妹を連れて二人で来た小学低学年の男子もいたという。

食料は寄付や差し入れなどでまかなっている。「地域の大人や近隣の商店を巻き込みながら、子どもたちが安心して楽しめる場所を目指したい」と村上さんは話す。

せたがやごはん食卓・みっとへの問い合わせは、メール seitagaya@seaitai.com へ。

子どもの貧困率

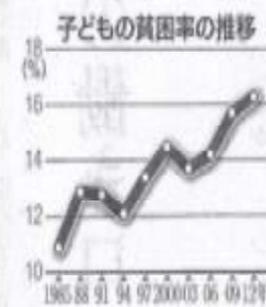
ひとり親世帯の54%に

厚生労働省の調査では、二〇一二年時点で手取り所得が一般的な水準の半分以下しかない世帯の十八歳未満の子の割合は16.3%で、六人に一人に当たる。最近二十年で約3.5%増えている。ひとり親世帯など大人が一人の世帯では、この貧困率が54.6%に跳ね上がる。

進学率は31.7%で、全体の半分以下となっている。貧困状態にある子どもに食事を提供する「ごはん食卓」や無料学習支援は市民

グループなどこの手で各地に広がっている。パッケージ不良や規格外などの理由で売れ残った食品を企業などから寄付してもらい、生活の苦しい家庭に届ける「フードバンク活動」に取り組み団体も増えている。

子どもの貧困は進学との関連も高く、生活保護世帯の子どもの高校進学率は91.1%で全体より7%低い。大学や短大などへの



一方、政府が子どもの貧困対策の目玉として始めた「子供の未来応援基金」は、募金開始の十月から約二カ月間で民間から集まった寄付金が約三百万円にとどまっている。

利用者増受け入れ拡大 感染予防へ弁当配布に

一斉休校

新型コロナウイルス感染症の拡大による休校措置を受け、貧困家庭や共働き家庭の子どもたちに食事を提供する県内の「子ども食堂」は需要が高まる中、活動の拡充や継続に向けて試行錯誤が続いている。休校で新規利用が増加し、受け入れを拡大する団体がある一方、感染予防のため人が集まる場所での食事提供を休止し、弁当の配布に切り替える団体も出てきた。

福島市の「子どもカフェたまご」は集会所で毎月1回の開催を休止したが、週1回の頻度で市販の弁当を配布することを決めた。休校後の新規申し込みが3分の1を占めたという。代表の斎藤真智子さん(43)は「共働きの保護者や留守番

子ども食堂 試行錯誤



子どもたちに弁当を提供する会津若松市の「OHANA食堂」

をする子どもたちの役に立ちたい」と話す。頻度を増やしたのは、活動の重要性を認識しているからだ。同市の吉井田学習センターで食事を提供する「よじりだキッチン」を開くNPO法人ビーンズふくしまは、医療従事者を配置した

を「一日のスタートで重要」

上で開催する。夕食の提供は、ゆめ、子どもたちにパンを配るといふ。同法人の江藤大裕さん(43)は「地域の皆さんから後押しを受け、開催を決めた。こういう状況だからこそ、子どものために活動したい」と決意を新たにしている。

子ども支援事例紹介 文科省HP

教員の「朝会」動画配信

休止する子ども食堂もある中、会津若松市で活動するOHANA食堂は毎月1回の活動を毎週1回に拡大した。スタッフで話し合い、縮小ではなく拡大を決めた。毎週木曜日に昼食を無料提供し、持ち帰り希望の人に弁当を手渡す。運営するNPO法人ゆめの子の生命をつなぐオーバードーン理事長の板倉未希さん(45)は「さまざまな事情を抱える子どもがいる。休校が負担にならないよう、手伝いたい」と思いを強くしている。

動画配信サイトで「朝会」を開いて励まし、自宅で作れる料理のレシピを学校サイトに載せる。文科省は、各地の学校で一斉休校が続く中、子どもたちの学習や生活を支援する取り組み事例をまとめ、ホームページ(HP)で公開した。「学校の臨時休業の実施状況、取組事例等について」と題した資料で、文科省HPのトップからアクセスできる。教員が毎朝「朝会」を開き、動画配信サイトにアップしているのは横濱市立の中学校。違う教員が顔を見せ、子どもたちを励ましている。東京都目黒区立五本木小では、栄養教諭が中心となり、学校HPで子どもでも作れる料理の作り方を載せている。版の炊き方、みそ汁の作り方といった基本を写真付きで紹介。休校期間中を「生活を学んで暮らしを楽しむチャンス」と位置づけ、家族の協力も呼び掛けている。長崎県対馬市立の中学校は、生徒に1人1台配布したタブレットを使って朝、決まった時間に健康状態を確認させている。体調不良や連絡がない場合は、教員が電話や家庭訪問をする。

子ども食堂

社高生が食事提供

加東 21日から月1回

加東市のNPO法人が運営する子ども食堂「ペイフオワード」で月1回、社高校(同市木梨)生活科学科の生徒がお子さまランチの提供を始める。21日の初回はケチャップライスやハンバーグなど3品にデザート付き。当日、子どもたちと一緒に食事をする生徒たち

は「おいしいごはんとか話を楽しもう」と呼び掛けている。家庭の事情で食事を取れなかったり、一人で食事をしたりしている子どもたちのために昨年11月、市内の有志が始めた。毎週土曜、社福祉センターで開設している。

同法人が協力を呼び掛けて実現。メニューの考案と調理は、子ども向けの給食について授業で学ぶ3年の田中亜実さん(18)と前田伊代菜さん(18)が担当した。今後も授業の一環として3年生がメニュー作りと調理に当たる。

田中さんと前田さん



お子さまランチを考案した前田伊代菜さん(左)と田中亜実さん=社高校

月 18 加

歩いて満喫 歴中ロマン

は「目
しく
なので
てほ
べる
もら
る。
約
5時

高砂 組む保護猫カフェ「まーぶるかふえ」(高砂市神爪1)が月に1回、子ども食堂を開いている。地域の小中学生らが集まり、猫と触れ合いながら思い

思いに通じる。店長の村田サヤカさん(30)は「猫がいると、子どもは心を開きやすくなる。学校でも家でもない、第三の居場所でありたい」と話す。

(小森有喜)

保護や里親探しに取り組む

猫カフェで子ども食堂



村田サヤカさん(左から2人目)らが続ける子ども食堂「まーぶるかふえ」

同店は加古川市の不動産会社「ジャムホームエステート」が2017年に開設した。地域住民らの依頼を受け、捨て猫などを引き取って新たな飼い主につないでいる。現在は20匹がおり、利用者は30分400円で猫と触れ合えるほか、猫がいる部屋とガラスで区切られた飲食スペースで、軽食もできる。希望者は、猫を引き取るための手続きをする。



保護された猫と触れ合う子どもたち

「第三の居場所に」

子ども食堂の利用は無料。毎月、小中学生を中心に20人ほどが訪れる。料理の準備をしている間、子どもたちは猫にえさをやったり

食費は9月3日で19回目を迎える。当初は不登校だ

子どもの孤食を防ぐこと。昨年1月から毎月、定休日をを利用して子ども食堂を始めた。「保護された猫と接することで、命の大切さも感じてもらえるのでは」と村田さん。

石井るなさん(9)は「大好きな猫と遊べて、ご飯もおいしい。来るのが楽しみ」といっている。

り遊んだりして過ごす。運営には近隣の飲食店が協力し、食材の一部も提供する。加古川市で日本料理店を営む迫田美樹男さん(49)が調理を手伝い、手

つたが、食堂に通いながら心を開き、学校に行くようになった中学生も。村田さんは「悩みを抱える子どもに、寄り添ってあげられる場所になりたい」と話す。

子ども食堂は第1火曜午後4〜6時。同カフェ営業080・4020・8835

高砂 車いすハンドボールなど 小中学生ら120人体験



障害者スポーツに親しむイベント「ユニバーサルスポーツTAKASAGO」が31日、高砂市総合体育館(米田町馬)であった。小中学生ら約120人が参加

子ども支える「こども食堂」

首都圏に続々 開設講座盛況

「こども食堂」が首都圏で続々と生まれ、おなかがすかせたり、家で一人で過ごしたりしている子どもたちが、低料金や無料でご飯を食べられる。食堂を始めたい大人向けの講座も盛況。「食」を通じて子どもたちの居場所をつくる取り組みが広がっている。



「ぞんみょうじこども食堂」で食べながら談笑する親子

安く提供「安心できる居場所に」

「食堂を始めたいが、どうしていいかわからない」「子どもたちにどうやって知ってもらえばいいのか」東京都世田谷区の存明寺で、この冬開かれた「こども食堂のつくり方講座」。主婦や元教師、会社経営者、地方議員……。都内や埼玉、神奈川、香川各県から参加した19人が車座になり、食堂を運営する4人の「先輩」たちに、場所の探し方やスタッフの集め方などを質問した。



講座で食堂の運営者(奥左から3人目)の話聞く参加者ら。いずれも東京都世田谷区

9月に「ぞんみょうじこども食堂」を始めた。毎月1回の午後5〜7時、寺の客殿でボランティア8人とキーマカレーを振る舞う。2歳までは100円、3歳以上は200円、大人は300円だ。毎回30〜40人がごはんを食べに来る。

- ①開催頻度や利用者数、どんな人に来てほしいかをイメージする
 - ②寺や公共施設、個人宅、休業日の飲食店など、安価で衛生面がしっかりし、子どもの集まりやすい場所がベスト
 - ③行政機関や学校関係者、民生委員など子どもに関わる人に相談し、地域の事情をきく
 - ④事前に保健所に相談し、食堂の規模や場所、開催頻度に応じた届け出をする。各種保険への加入もおすすめ
- (こども食堂ネットワーク事務局による)

区内の「ねりまこども食堂」をSNSで知り、見学したのがきっかけだ。日本の子ども8人に1人が貧困とされることを知り、ショックを受けたという。「食堂なら自分でもできる」。ブログでボランティアスタッフを募集。支援が必要な子どもたちとつながるため、スクールソーシャルワーカーや民生委員、支援団体などを訪ねた。

「いただきます」。午後7時、区民館の大広間に声が響いた。ご飯、サツマイモ汁、チキン南蛮、小松菜と長芋のごまあえ、果物。小学生の2人の子ともがいるシングルマザーの40代の女性は「生活はいろいろ大変ですが、私は気分転換できるし、子どもも楽しみにしています」と話す。只野さんは「行政や地域とのネットワークを広げたい」と言う。先月、入浴や洗濯もできる2カ所目のこ

